

## 11 企業結合

### (1) 合併

吸収合併—ある会社が他の会社を吸収すること。存続会社は消滅会社の資産、負債を引き継ぎ、その対価として消滅会社の株主に株式を交付する。受け入れた資産と負債の差額と発行した株式の金額の差額をのれんとして処理する。

・当社は、A社を吸収合併し、新たに当社の株式100株(@25,000円)を同社の株主に交付した。A社の資産などは次の通り。

現金—1,000,000円

売掛金—帳簿価額800,000円(時価も同額)

車両—帳簿価額1,500,000円(時価1,200,000)

借入金—帳簿価額750,000円(時価も同額)

・上記ののれんを10年間で償却する。

(151回2問)平成30年2月1日、岡山物産株式会社を吸収合併し、同社の諸資産(時価総額¥9,000,000)と諸負債(時価総額¥5,000,000)を引き継ぐとともに、合併の対価として新株8,000株(1株当たりの時価は¥550)を発行し、同社の株主に交付した。なお、新株の発行にともなう純資産(株主資本)の増加額のうち、¥3,000,000は資本金とし、残額はその他資本剰余金として計上した。

(150回1問)同業他社の事業の一部を譲り受けることになり、譲渡代金¥4,500,000を普通預金口座から相手先口座に振り込んだ。この取引により譲り受けた資産の評価額は、商品 ¥800,000、建物 ¥1,800,000、備品 ¥600,000であり、引き受けた負債はなかった。

【解答】

11 企業結合

・当社は、A社を吸収合併し、新たに当社の株式100株(@25,000円)を同社の株主に交付した。A社の資産などは次の通り。

現金 1,000,000円

売掛金 1帳簿価額 800,000円(時価も同額)

車両 1帳簿価額 1,500,000円(時価 1,200,000)

借入金 1帳簿価額 750,000円(時価も同額)

現金 1,000,000 / 借入金 750,000

売掛金 800,000 資本金 2,500,000

車両 1,200,000

のれん 250,000

・上記ののれんを10年間で償却する。

のれん償却 25,000 / のれん 250,000

(151回2問)平成30年2月1日、岡山物産株式会社を吸収合併し、同社の諸資産(時価総額¥9,000,000)と諸負債(時価総額¥5,000,000)を引き継ぐとともに、合併の対価として新株8,000株(1株当たりの時価は¥550)を発行し、同社の株主に交付した。なお、新株の発行にともなう純資産(株主資本)の増加額のうち、¥3,000,000は資本金とし、残額はその他資本剰余金として計上した。

諸資産 9,000,000 / 諸負債 5,000,000

のれん 400,000 資本金 3,000,000

その他資本金剰余金 1,400,000

(150回1問)同業他社の事業の一部を譲り受けることになり、譲渡代金¥4,500,000を普通預金口座から相手先口座に振り込んだ。この取引により譲り受けた資産の評価額は、商品 ¥800,000、建物 ¥1,800,000、備品 ¥600,000であり、引き受けた負債はなかった。

商品 800,000 / 普通預金 4,500,000

建物 1,800,000

備品 600,000

のれん 1,300,000